

# 平成5年度 特別会計 事業会計 予算

平成5年度の特別会計・事業会計の  
予算をお知らせします。

歳入は、保険税4億4119万7千円、国庫支出金5億1401万1千円、療養給付費交付金1億1607万8千円など。歳出では保険給付費が8億4094万4千円と大幅な増額。(前年度は7億868万5千円)しかし、老人保健医療費拠出金は、老人の増加に反して、前年度比0.7%減の3億969万4千円を見込みました。(前年度は3億1191万4千円)

老人保健の制度が充足して10年が経過しましたが、老人一人当たりの医療費が県下最高という状態であり、一般会計及び国保会計を圧迫しており、苦慮しています。

厚生省が示した「ふれっしゅ水道計画」を踏まえながら施設の改善および健全化を図るべく予算を編成しました。供給戸数では130戸増の7650戸、年間総給水量は373万4830立方メートルを見込んでいます。

暖冬が恒常化していることも相まって電力等の他エネルギーとの競争や景気の後退により厳しい経営環境が予想されます。安全を第一に、保安の確保、サービス向上に努め、経営の合理化と健全化を図るべく予算編成しました。

本年の懸案であった公共下水道事業が平成10年度までの整備面積65ヘクタールの事業認可を得る見込みとなりました。本年度より、西川流域下水道、西川処理区の関連十一市町村で工事着工が出来ることになり、それにもなつて下水道事業特別会計を設置しました。

## 各会計の予算 ( )は前年度比

- 国民健康保険特別会計 12億4048万6千円(+15.1%)
- 老人保健特別会計 19億765万2千円(+15.3%)
- 水道事業会計(支出) 6億1464万円(+1.0%)
- ガス事業会計(支出) 10億3885万6千円(+29.1%)
- 下水道事業特別会計 4億200万円(皆増)

### 国民健康保険

老人保険拠出金横ばい  
だが保険給付費は大幅増

歳入歳出ともに12億4048万6千円で、前年度より1億6254万8千円、15.1%の増です。前年度の高医療費の実績などを勘案して編成しました。医療技術の進歩、医療施設の進出など国保をとりまく諸情勢は依然として厳しい状況にあります。事業としては療養給付費をはじめ各種の給付を行うと共に、保険施設事業実施計画により、地域の実情に応じた事業の推進を図ります。また一般会計事業と連携をとり、被保険者の健康づくり事業の推進に努めます。

### 昨年同様

## 老人一人当たりの医療費 が県下最高

### 老人保健

今後ますます老人が増加すると見込まれますので、レセプトの点検整備指導、健康教育などに努めます。

### 水道事業

「ふれっしゅ水道計画」踏まえ、施設を改善

施設の改善では、安定供給を図るため、二カ年継続事業のガスホルダー増設など予定しています。

本年の懸案であった公共下水道事業が平成10年度までの整備面積65ヘクタールの事業認可を得る見込みとなりました。本年度より、西川流域下水道、西川処理区の関連十一市町村で工事着工が出来ることになり、それにもなつて下水道事業特別会計を設置しました。

### ガス事業

### 安全第一に

## 経営健全化を図る

暖冬が恒常化していることも相まって電力等の他エネルギーとの競争や景気の後退により厳しい経営環境が予想されます。安全を第一に、保安の確保、サービス向上に努め、経営の合理化と健全化を図るべく予算編成しました。

### 下水道事業

## 本年度より下水道 事業特別会計を設置

本年の懸案であった公共下水道事業が平成10年度までの整備面積65ヘクタールの事業認可を得る見込みとなりました。本年度より、西川流域下水道、西川処理区の関連十一市町村で工事着工が出来ることになり、それにもなつて下水道事業特別会計を設置しました。

## 町民農園で無農薬、有機農法の普及を

## 農村総合整備モデル事業中心に生産基盤整備

## 農林水産業費 2億6222万2千円

(-8429万1千円)

農村環境整備は農村総合整備モデル事業を中心に生産基盤や生活環境の整備促進を図ります。水田転作は水田農業確立対策から水田営農活性化対策に衣替えされ、転作率は若干緩和されましたが、足腰の強い複合営農確立のため園芸生産を基本とした転作田の効率的な利用促進を図ります。水稲部門でも魅力ある農村環境と高所得が見込まれる水田面積が担い手へ集積されるような先進的農業確立のための集落づくりを板井集落をモデルに推進します。水稲の共同防除は、農業より安全、効果的な航空防除を中心に行います。また、町民農園で行われている無農薬、有機農法が広く理解されるよう努力します。

- ・農業委員会費 1307万円
- ・農業振興費 1329万円9千円
- ・水田営農活性化推進対策費 1309万2千円
- (うち転作奨励補助金900万円)
- ・農村総合整備事業費 1億2755万6千円
- ・農村環境改善センター管理費 1095万4千円
- ・農地費 7831万2千円
- ・西蒲原土地改良区非農地排水負担金 1047万6千円、県営広域営農団地農道整備事業負担金1014万1千円、県営農免農道事業負担金995万5千円ほか
- ・町民農園事業費 87万4千円

## 公債費 5億3021万1千円

(+5954万6千円)

- 町の借金である町債の返済。
- ・町債償還金(83件分) 2億5994万円
- ・町債償還金利子(105件分) 2億6727万1千円

## 諸支出金 1億5119万5千円

(-2億4437万6千円)

- おもに将来に備えての積立金
- ・地域福祉基金積立金 8500万円
- ・減債基金積立金(利子分) 1562万9千円
- ・財政調整基金積立金(利子分) 1513万2千円
- ・土地開発基金繰出金(利子分) 836万6千円
- ・都市整備基金積立金(利子分) 833万2千円
- ・ふるさと創生事業基金積立金(利子分) 730万3千円

## 議会費 1億313万5千円

(+557万7千円)

- ・議員報酬(26人分) 6171万6千円
- ・議員期末手当 2513万7千円
- ・議員共済会負担金 563万2千円
- ・議長交際費 51万5千円
- ・会議録調製委託料 220万円

## 労働費 88万4千円

(+25万2千円)

- ・失業労働者扶助費 71万4千円

## 災害復旧費 50万円

(±0)

## 予備費 1000万円

(-1656万4千円)

## ふれあいロード事業 本年度着工

## 土木費 16億8400万5千円

(+9億8469万9千円)

道路整備では国庫補助事業として山田立仏2号線、済生会病院線の2路線を引き続き実施します。また、善久寺地線脇用排水路についてはふれあいロード事業として、今年度から工事着工します。町単独では一級町道新幹線西側道路の整備ほか生活道路など計画的に整備をすすめます。また中ノ口川合流点工事は6月頃概成します。

開発では、最盛期を迎えている黒埼北部土地区画整理事業に引き続き健全な市街地の造成を図るため、事業費を助成します。

公園緑地の整備では昨年同様、山田河川敷公園の整備を図り、5年度中に側道の整備を進め概成します。また、中ノ口川合流点工事の概成により新田町域内に児童遊園、川原地内にゲートボール場を計画し、占用許可を得て整備をすすめます。また新田町児童遊園、ガス水道局前の路側に植栽工事を行い快適な環境づくりに取り組みます。

- ・町道改良舗装工事及びふれあいロード環境整備事業費 6億7040万5千円
- ・町道拡幅用地買収及び土地開発基金振替更正費 1億6450万7千円
- ・町道改良物件補償費 1億4478万円
- ・黒埼北部土地区画整理事業補助金 2億円
- ・下水道事業特別会計繰出金 1億2406万9千円
- ・都市下水路費 3436万1千円
- ・公園事業費 2億2991万9千円



区画整理の行われている北部地区